

杉原ウィーク2018・第19回杉原千畝記念短歌大会作品選考結果

(学生の部)

人道大賞	先人の学んだ庭のオリーブよ若き我らはその頂きの葉	安藤 遥香	愛知県立瑞陵高等学校2年
------	--------------------------	-------	--------------

(一般の部)

人道大賞	前線に置かれた祖父は水しぶきかかったような服を着ていた	岩崎 雄大	埼玉県和光市
------	-----------------------------	-------	--------

(小学生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	おにごっこいつも同じ子おにになるよくないおにはぼくたちかなあ	田中 温大	八百津町立八百津小学校3年
愛賞	十一才終戦むかえたおじいちゃん必死に耐えた今ぼくの年	伊藤 蓮	犬山市立犬山北小学校6年
心賞	思いやりひとりひとりのやさしさが世界を少し変えていくんだ	崔 準	名古屋市立平和小学校6年
心賞	もうすぐパズルがかんせいするよ。おめでとパチパチみんなでパチパチ	長谷川 義忠	八百津町立錦津小学校3年
勇気賞	きゅうりのねはっぱが大きくなったんだこれもいのちの一つなのかな	さかい ふうが	郡上市立大和南小学校2年
勇気賞	校庭にカーンカーンと鳴りひびく平和のかねは平和の印	竹内 真優	名古屋市立平和小学校5年
佳作	生きるため小さくまるいしんめ出しぐんぐんのびるかんようしょくぶつ	大ざわ 陽向	八百津町立潮見小学校3年
佳作	アオバズクひなとよりそう坪谷小家ぞくみんなで今年も来てね	三浦 柚希	日向市立坪谷小学校4年
佳作	どぶがわでもさかなはまえにすすんでるわたしもいっぽすすまなきや	大の ひめり	八百津町立久田見小学校2年
佳作	ちうねさん平和なせかいをねがってた今度はぼくらが平和を守る	小池 きょうすけ	八百津町立八百津小学校4年
佳作	やさしいと思いやりって同じだねみんなをえがおにする言葉	大脇 七星	八百津町立久田見小学校3年

(中学生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	思いやり込めた言葉は温かくスマホなんかで伝えられない	今林 双葉	昭和女子大学附属昭和中学校2年
愛賞	被原爆地なのにもう核に守られてなにやってるの？忘れちゃったの？	坂元 秋桜	八百津町立八百津中学校3年
心賞	人間はなぜ戦争をするのだろうか死者の声満つ日本の八月	市原 幹大	美濃加茂市立西中学校1年
心賞	友達に気を遣うのか思いやるのか似てるようだけど全然ちがう	下出 彩乃	可児市立西可児中学校2年
勇気賞	大切にしないのならばその命あげてくださいアフリカの子に	福井 梨乃	美濃加茂市立西中学校1年
勇気賞	つゆの中元気にのびるあじさいはうす暗い中かがやいていた	樋口 琳太	美濃加茂市立西中学校1年
佳作	あなたからあふれ出てくる優しさにわたしのこころあたたかくなる	前平 佳音	昭和女子大学附属昭和中学校1年
佳作	えん筆をにぎるその手が増えるたび平和だなあとこぼれる言葉	大村 南都江	昭和女子大学附属昭和中学校1年
佳作	平和とは身近なところにあるんだなおこられるのも平和のしょうこ	佐橋 柚香	八百津町立八百津中学校1年
佳作	僕たちは遊びの中で武器を持つ大人と違う平和なけんか	船橋 悠太	可児市立西可児中学校2年
佳作	あくびをしねむたそうに目をこする世界のどこでもみんな同じ	松井 里紗	八百津町立八百津東部中学校1年

(高校生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	リビングの電気をけすような手軽さで世界を愛せればよかったのに	星野 大和	茨城県立下館第一高等学校2年
愛賞	この夏も戦後と呼ばれる夏であれ飛行機雲が消えてくたべ	大幡 浅黄	茨城県立下館第一高等学校2年
心賞	忘れない恐怖伝える原爆のドームにあった焼けた夏服	藤原 大翔	長野県穂高商業高等学校2年
心賞	目をとじて火の海に立つ自分見る臉に透ける日はあたたかい	安藤 友香	愛知県立瑞陵高等学校1年
勇気賞	蟻たちを無邪気に殺す子供たちぼくらの空は青かったんだ	石塚 江莉奈	愛知県立常滑高等学校1年
勇気賞	真っ白なハトに伸ばした小さな手むすんでひらいて地球儀廻る	三野輪 光莉	茨城県立下館第一高等学校2年
佳作	朝が来るそのなにげない毎日が今が平和とそう思わせる	内村 鷹翔	愛知県立小牧南高等学校1年
佳作	毎日が笑顔が絶えないこれからもひまわりのような花が咲いている	大城 海渚	沖縄県立糸満高等学校3年
佳作	頭から熱いシャワーを浴び続けいつまで友の私でいれるか	松本 聖大	茨城県立下館第一高等学校2年
佳作	あなたがね手を差しのべてくれたから今の私は花の表情	金城 龍弥	沖縄県立糸満高等学校3年
佳作	優しさを引き出すようなその瞳もう少しだけそのままいて	岩田 優里	愛知県立杏和高等学校2年

(一般の部)

	句	氏名	住所
愛賞	戦争がなければ違う人生を歩んだら祖母は白寿に	本谷 亜紀子	愛知県西尾市
愛賞	この家と死ぬと警報に動かざる祖父殴りしと父の八月	大塚 雅之	岐阜県関市
心賞	赤ちゃんは生まれる国を選べないせめて平和な空をください	古賀 由美子	佐賀県唐津市
心賞	すいとんを旨しうましと食べたる遠き日のありぜんざいうまし	嶋田 操子	岐阜県関市
勇気賞	「死にたまふ母」説きて後徒らに煽らず千畝短歌を募る	中條 宏	兵庫県神戸市
勇気賞	戦争を話したあとの黒板の何故という文字誰れも消さない	吉田 和子	東京都葛飾区
佳作	契約に無き昼食をも出してくれし異国に臥せる孫にマザーは	西尾 亜希子	岐阜県恵那市
佳作	通訳のいらぬ首脳会談を世界が見つめ我も見ている	井沢 美志津	岐阜県大垣市
佳作	平成の終わりとともに戦争も消えてしまえと米を磨ぐ母	石原 房子	愛知県名古屋市
佳作	0歳のピンと伸びたる人差しゆび犬の鼻づら目指して進む	中條 喜美子	アメリカ合衆国
佳作	名を呼ぶと小さくうなづく入所者に食事介助する終戦記念日	木村 昌資	愛知県名古屋市

(学校賞)

学校賞	八百津町立八百津小学校
奨励賞	昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校
奨励賞	可児市立西可児中学校